図 書 室 だ よ り vol.199

図書委員が聞く あの先生のこの一冊

2年C組の担任で体育科の荒木絵美瑠先生にインタビューしました!

888 888 888 888 888 888 888 888 888 888 888 888 888 888 888

『体育がきらい』 坂本拓弥 著 ちくまプリマー新書 S780-S

888 888 888 888 888 888 888 888 888 888 888 888 888 888 888

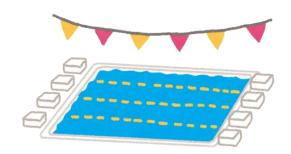
●この本を選んだきっかけ

先生自身は体育が得意で好きだったので、タイトルの理由が気になったから。

●荒木先生とスポーツ

なんと先生は、2才から水泳、小学生からはバスケをしていました! 中学生になって部活としてバスケを始めるまで、水泳もずっと続けて いたそうです。

勉強が苦手だったから、運動で褒めてもらえるのが嬉しく て頑張っていたと仰っていました。



●『体育がきらい』の内容

著者の方も体育の先生で、生徒たちの体育嫌いへの向き合い方について書かれています。先生が印象的だったのは、「体育がきらい」と「運動がきらい」は違うということでした。体育が嫌いな人も、運動は好きということがよくあります。体育では、スポーツをするにあたって細かい決まりがあったり、テストがあったりします。それらが生徒たちの「体育がきらい」を招いているのだといいます。

これには思わず、一緒にインタビューをきいていた私の友達も、「たしかに!」と言っていました。運動が嫌いだから体育が嫌いというわけではないのですね。

●先生の感想

先生は、自分は体育が好きだと思っていましたが、この本を読んで、好きなのは体育ではなく運動だと気が付いたそうです。体育の授業のせいで私たちが体育も運動も嫌いにならないよう、テストでも日頃から様々な工夫を心がけていて、改めてその大切さを認識したと仰っていました。



●荒木先生からのメッセージ!

先生として、授業では服装などを注意しないといけないときはあるけれど、体育で楽しく運動してほしいです! (けがには気をつけて!)

●私の感想

私は荒木先生と違って体育が嫌いなので、タイトルには共感しました。 この本に出会えてよかったです。体育の先生である荒木先生の考えも 知れたのが新鮮でした。これからはもっと運動を楽しもうと思います!



中央大学高等学校

〒112-0003東京都文京区春日1丁目13-27

9月7日13時~16時半 日時 9月8日10時~13時半

場所 図書室(3号館3階)

きっと好きになる本を探せます!ぜひ来てください!

今年は新しい企画で、本の紹介動画を 作ってみました。| 作品 30 秒~50 秒と 短いので見やすいものになっています。 後楽祭当日、見れなかった!という人、 見てみたい!と思った人は、司書までお 声がけください。

し取し本後 ま の楽 上 し 紹 祭 た げ 介 た 動 画書 本 を を 委 紹 上員 介 映が

『おじさまと猫』櫻井海/ スクウェア・エニックス 『キケン』有川浩/

新潮文庫・角川文庫

『二木先生』夏木志朋/

ポプラ文庫

『天国までの49日間』櫻井千姫/ スターツ出版文庫

『この物語を君に捧ぐ』森日向/

講談社ラノベ文庫

『誰が勇者を殺したか』駄犬/

角川スニーカー文庫

『君の膵臓をたべたい』住野よる/ 双葉文庫

『タヌキとキツネ』アクモト/

フロンティアワークス

『古事記完全講義』竹田恒泰/

学研パブリッシング

図書室でこんな本をみつけました!

『私 立 文 章 女 学 院』加 藤 道 子【テキスト】/ 深 川 優【イラスト】 遊 泳 舎 816-K

~もし、女 子 校 に「文 章」の授 業 があったら 3人 の高 校 生と学 ぶ「文 章 のきほん 100」~ 帯には、なんとも魅力的な文章が!!

文章を書くと、回りくどくわかりにくい表現になってしまう…と苦手意識の塊で ある某司書。文章について教えてくれる人もなく、学ぶ機会がないまま今に至っ ていたところ、この本に出合いました。

文章を推敲するときに役立つこと間違いなし!!

一つのトピックスがイラストを含め、見開きIページで完結しています。読んで も見ても楽しいですよ!